

始良市地域公共交通網形成計画

アンケート・ヒアリング調査結果、及び
地域公共交通の課題・問題点及び対応策

株式会社九州経済研究所

目次

- I 交通事業者へのヒアリング
- II 乗り込み調査（路面バス、コミュニティバス等）
- III 接続調査実施概要
- IV 市民アンケート
- V 施設利用者アンケート①（高校）
- VI 施設利用者アンケート②（医療施設）
- VII 施設利用者アンケート③（商業施設）
- VIII 施設利用者アンケート④（3庁舎）
- IX 施設利用者アンケート⑤（観光交流センター）
- X 観光イベント時アンケート（大楠どんと秋まつり）
- XI 公共交通不便地域での座談会
- XII 地域公共交通の課題・問題点及び対応策

調査フロー

今回報告部分

1. 地域特性及び公共交通の現状把握

- (1) 関連する法令・計画等の整理
- (2) 地域特性の把握
- (3) 交通事業者へのヒアリング
- (4) 乗り込み調査

2. 市民の利用実態やニーズ把握調査

- (1) 市民アンケート
- (2) 施設利用者へのヒアリング
- (3) 公共交通不便地域での座談会の開催

始良市公共交通の課題・ニーズの抽出、整理

3. 将来構想に向けた分析・検討

調査結果を踏まえ、実情に即した公共交通体系や交通拠点の設定等、効率的な公共交通ネットワークの実現に向けた対応策等を提案する。

4. 地域公共交通網形成計画(案)の取りまとめ

「始良市地域公共交通網形成計画書(案)」の作成

1

I 交通事業者へのヒアリング実施概要

項目	実施方法・内容等
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ■バス事業者 南国交通(株)、鹿児島交通(株) ■コミュニティバス、乗合タクシー (有)あいら交通、第一交通(株)、新川タクシー(株)、(有)安田タクシー ■鉄道事業者 九州旅客鉄道(株)
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ■直接訪問、聞き取り
調査時期	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年11月21日(月) 南国交通(株) ■平成28年11月21日(月) 鹿児島交通(株) ■平成28年11月22日(火) (有)安田タクシー ■平成28年11月22日(火) 第一交通(株) 始良営業所 ■平成28年11月22日(火) 新川タクシー(株) 加治木営業所 ■平成28年11月22日(火) (有)あいら交通 ■平成28年12月 8日(木) 九州旅客鉄道(株) 鹿児島鉄道事業部
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の実態・ニーズ(意見・要望など) ・運行上の問題、改善点 ・事業展望 <p style="text-align: right;">など</p>

2

I 交通事業者へのヒアリング回答 (1/2)

項目	実施方法・内容等
利用実態	<ul style="list-style-type: none"> ■バス利用者が多い地点としては、「イオン」、「帖佐駅」、「蒲生高校」がある。主に通勤と通学。 ■観光としては「くすくす館」、「蒲生支所」、「八幡」でのバス利用が多い。龍門の滝への問い合わせは無い。 ■6～9時または16時以降は、通勤、通学のためバス利用者が多い。 ■9～16時までにはバス利用者が少ない。お年寄りが病院の時間に合わせて利用。 ■バス乗り換え地点（加治木）としては、加治木本町と向町。 ■タクシー利用者は高齢の方が多く、病院、買い物利用が多い。 ■タクシー1日利用者は、A社1日利用者500人、B社300～400人程度。 ■タクシー利用者は10時くらいから午前中に集中する。 ■福祉車両（車いす用）を保有しているタクシー事業者もある。利用者の時間が重なる時もあるのでもう1台保有したいと考えている。 ■運転免許返納証明、障がい者手帳等の提示により割引あり。 ■登録制で妊婦サポートサービスを導入。現在250名程度が登録しており、健診、陣痛時にかかりつけの産婦人科まで連れて行くことができる。 ■スマホのアプリを利用したサービスも行っているが、現在は鹿児島市内だけ対応している。車両にGPS機器を設置する必要がある。 ■バッテリーチャージサービス、買い物代行も行っており、お客さんが注文したものをお店に取りに行くサービス。 ■駅での観光情報については、現状観光マップを設置している程度である。

3

I 交通事業者へのヒアリング回答 (2/2)

項目	実施方法・内容等
利用者からの要望	<ul style="list-style-type: none"> ■3庁舎間バスだけでなく、他経路の循環バスを走らせてはとの要望。 ■イオンを中心とした路線を蒲生や加治木から走らせてもよいのではとの要望 ■パーク&バスライド等ができればバス利用が増えるのでは。 ■自治体（始良市）を経由した鉄道事業者への要望について、帖佐駅、始良駅、錦江駅については南側に、重富駅、加治木駅については北側に改札口を設けてほしいとの要望あり。
今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ■運転免許返納証明を見せれば10%割引している。補助金等はない。 ■補助次第で、ジャンボタクシーも考えている。 ■駅での情報発信端末の設置（県内順次設置中） ■デイサービスで病院に行く人が増えてきている。途中で買い物をして帰ることもできる。薬局でも自宅まで送るサービスをしているところもある。 ■バスがどこを走っているかなどの情報発信を考えている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ■タクシー運転手不足。60歳代がほとんど。車両台数の1.3倍の運転手がいることが理想。 ■バスの運転手確保のために、養成期間を設け教習所代などを負担することで一定期間働いてもらうことを条件とするが、それでも人が集まらない。 ■タクシーでの観光利用はほとんどない。また、現状では観光利用に充てる余裕がなく、地元利用が優先である。 ■買い物も付き添うケースもあるが、効率悪い。 ■デマンドタクシーは厳しい側面もある。（バス）事業者としては使用頻度の想定できない車両を準備・維持していかななくてはならないリスクがある。

4

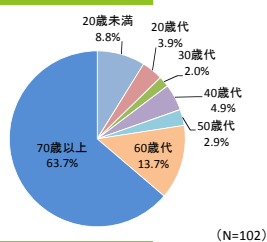
II 乗り込み調査実施概要

項目	実施方法・内容等
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ■路線バス（大・小循環、市内JR駅を基点とする路線バス） 南国交通(株)、鹿児島交通(株) ■コミュニティバス 加治木地区循環バス、蒲生地区巡回バス、 蒲生町大山地区乗合タクシー、上名地区乗合バス、 ふるさとバス、3庁舎間バス
調査方法	■調査員が車内に乗り込み、利用者聞き取り調査
調査時期／サンプル数	■平成28年11月30日、12月2日、5日、9日 / 102件
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・属性（性別、年代、職業、居住地、免許証保有、自動車保有） ・利用状況（頻度、利用目的、利用区間、利用時間帯、目的地） ・自宅から乗車駅・乗車バス停までの交通手段 ・降車駅・降車バス停から目的地までの交通手段 ・公共交通の満足度 （運行本数、運行時間帯、運賃、運行経路、所要時間、 始発・最終の時間、自宅からバス停までの距離、乗り換え、 時刻表・路線図情報、バリアフリー対応、バス待合環境 バス停における情報提供、総合的なサービス内容） ・公共交通に対する要望・意見

5

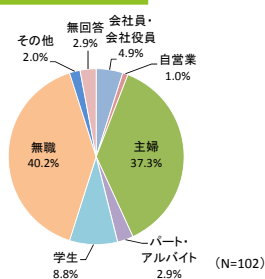
II 乗り込み調査集計

年代



回答者の年代構成比は、「70歳以上」が63.7%と最も高く、次いで「60歳代」が13.7%、「20歳代未満」が8.8%、「40歳代」が4.9%及び「20歳代」が3.9%と続く。

職業

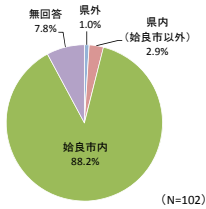


回答者の職業は、「無職」が40.2%と最も高く、次いで「主婦」が37.3%、「学生」が8.8%及び「会社員・会社役員」が4.9%と続く。

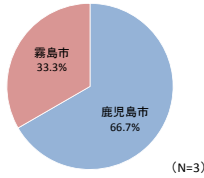
6

II 乗り込み調査集計

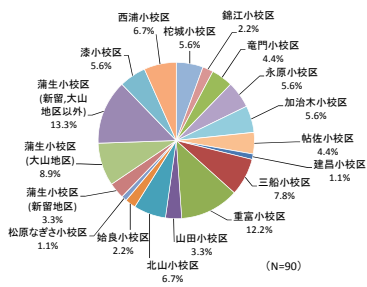
居住地



県内(始良市以外)



始良市内



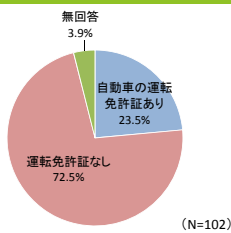
回答者の居住地は、「始良市内」が88.2%と最も多く、次いで、「鹿児島県内(始良市以外)」が2.9%、「県外」が1.0%である。

県内始良市以外からの利用は、「鹿児島市」が66.7%と最も多く、次いで「霧島市」が33.3%と続く。

始良市内での利用は、利用路線が関わってくるが、蒲生小校区(新留・大山地区以外)及び重富小校区の比率が高くなっている。

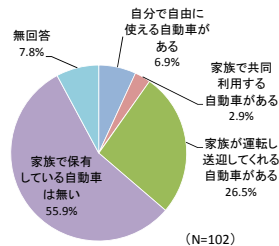
II 乗り込み調査集計

運転免許証の保有状況



バス利用の回答者における運転免許証保有状況は、「免許証なし」が72.5%となっており、「免許証あり」が23.5%である。

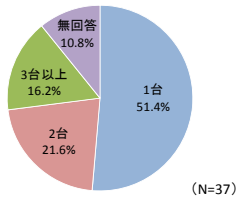
自動車の保有状況



バス利用の回答者における自動車保有状況は、「家族で所有している自動車はない」が55.9%と最も高く、次いで「家族が運転し送迎してくれる自動車がある」が26.5%、「自分で自由に使える自動車がある」が6.9%及び「家族で共同利用する自動車がある」が2.9%と続く。

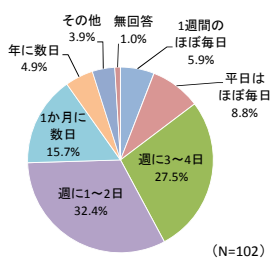
II 乗り込み調査集計

自動車の世帯保有台数



バス利用の回答者における自動車の世帯保有台数は、「1台」が51.4%となり、次いで「2台」が21.6%及び「3台以上」が16.2%である。

公共交通の利用頻度

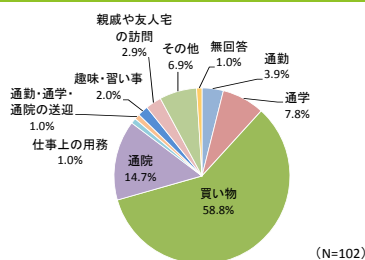


バス利用の回答者における公共交通の利用頻度は、「週に1~2回」が32.4%と最も高く、次いで「週に3~4回」が27.5%、「1ヶ月に数回」が15.7%、「平日はほぼ毎日」が8.8%、「1週間のほぼ毎日」が5.9%、及び「年に数回」が4.9%と続く。

9

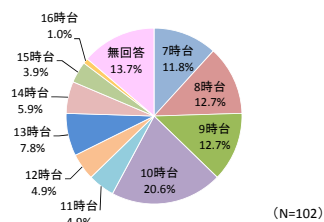
II 乗り込み調査集計

公共交通を利用して外出する主な目的



バス利用の回答者における公共交通を利用して外出する主な目的は、「買い物」が58.8%と最も高く、次いで「通院」が14.7%及び「通学」が7.8%と続く。

出発時間帯

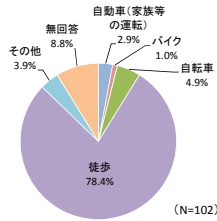


バス利用の回答者におけるよく利用する時間（出発時間帯）は、「10時台」が20.6%と最も多く、次いで「8時台」及び「9時台」が12.7%及び「7時台」が11.8%である。

10

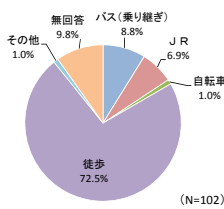
II 乗り込み調査集計

自宅から最寄りのバス停までの移動手段



バス利用の回答者における自宅から最寄りのバス停までの移動手段は、「徒歩」が78.4%と最も多く、次いで「自転車」が4.9%、「自動車（家族等の運転）」が2.9%の順である。

降車したバス停から目的地までの移動手段

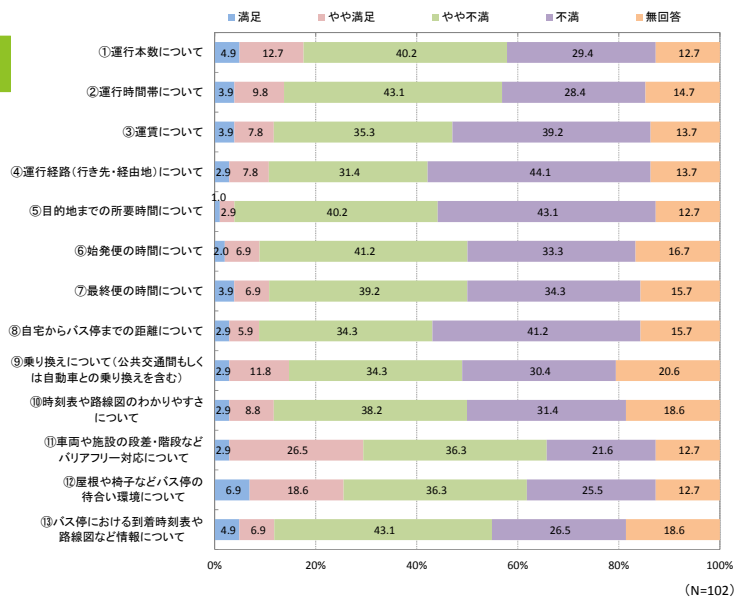


バス利用の回答者における降車したバス停から目的地までの移動手段は、「徒歩」が72.5%と最も多く、次いで「バス（乗り継ぎ）」が8.8%、「JR」が6.9%の順である。

II 乗り込み調査集計

公共交通の満足度について

バス利用の回答者における公共交通の満足度のうちは、「不満」の比率が最も高いものは「④運行経路（行き先・経由地）について」が44.1%と最も高く、次いで「⑤目的地までの所要時間について」が43.1%、「⑧自宅からバス停までの距離について」が41.2%となっている。



Ⅲ 接続調査実施概要

項目	実施方法・内容等
調査対象	■ 交通接続点における乗降者
調査方法	■ JR帖佐駅、JR加治木駅にてバス及びタクシーの乗降者数を計測
調査時期	■ 平成28年11月22日（火）（JR帖佐駅） ■ 平成28年11月25日（金）（JR加治木駅）
調査内容／結果	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降時間 ・乗降路線 ・乗降者数 <p>■ 帖佐駅でのバス利用は、朝夕利用の他、昼間にイオン、蒲生・楠田方面への利用が数名程度。</p> <p>■ 加治木駅でのバス利用は、朝夕の鹿児島空港、溝辺下十文字方面への利用、昼間にイオン・楠田方面の利用が数名程度。</p> <p>■ 帖佐駅でのタクシー利用は、上下車とも1時間に1～2名程度</p> <p>■ 加治木駅でのタクシー利用は、朝夕5名程度のまとまった利用の他はまばらな利用。</p>

13

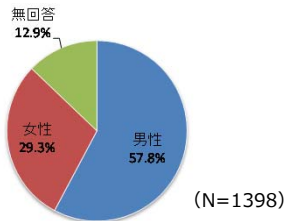
Ⅳ 市民アンケート実施概要

項目	実施方法・内容等
調査対象	■ 市民（地域区分による18歳以上市民の無作為抽出）
調査方法	■ 郵送による調査票の配布・回収
調査期間	■ 平成28年10月18日～11月25日
配布数	■ 3,043件
サンプル数	■ 1,398件（回収率：45.9%）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・属性（性別、年代、世帯人数、職業、居住地、免許証保有、自動車保有状況、自動車の維持費、最寄りのバス停） ・日常の交通行動（外出頻度、交通手段、移動目的、目的地、時間帯、買い物先、通院先など） ・公共交通利用の理由（利用しない理由） ・公共交通サービスの満足度 （運行本数、運行時間帯、運賃、運行経路、所要時間、始発・最終の時間、乗り換え、時刻表・路線図情報、バリアフリー対応、バス停待合環境、バス停における情報提供、総合的なサービス内容） ・公共交通に対する要望・意見 ・免許返納の意向 ・公共交通維持に対する意見

14

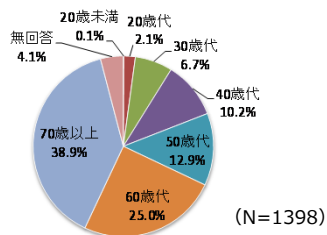
IV 市民アンケート集計

性別



市民アンケート回答者の性別比率は、「男性」が57.8%、「女性」が29.3%である。

年代



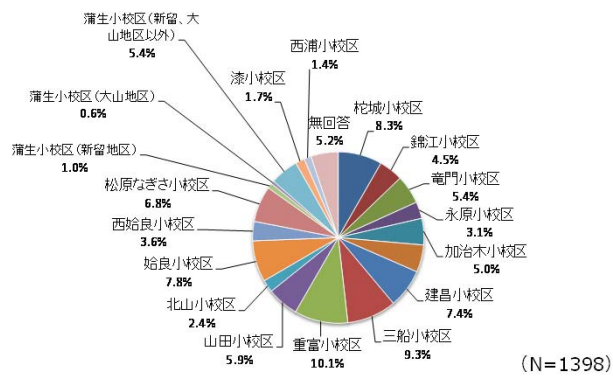
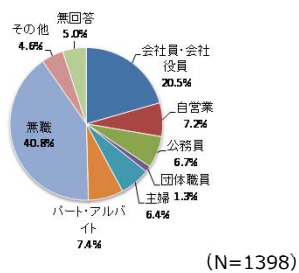
回答者の年代構成比は、「70歳以上」が38.9%と最も高く、次いで「60歳代」が25.0%、「50歳代」が12.9%、「40歳代」が10.2%及び「30歳代」が6.7%と続く。

IV 市民アンケート集計

居住地

回答者の居住地構成は、右図のとおりである。

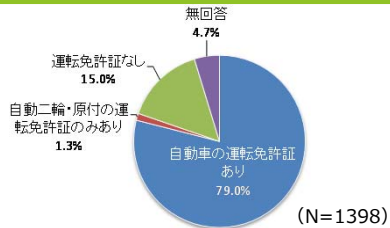
職業



市民アンケート回答者の職業は、「無職」が40.8%と最も高く、次いで「会社員・会社役員」が20.5%、「自営業」が7.2%、「公務員」が6.7%、及び「主婦」が6.4%と続く。

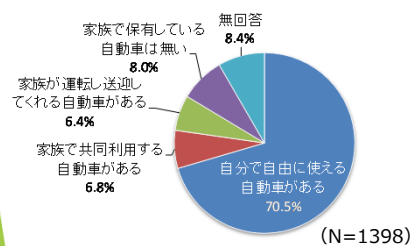
IV 市民アンケート集計

運転免許証の保有状況



市民アンケート回答者における運転免許証保有状況は、「免許証あり」が79.0%となっており、「免許証なし」が15.0%である。「自動二輪・原付の免許証のみあり」が1.3%である。

自動車の保有状況

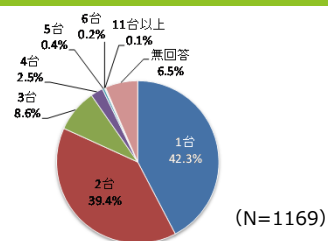


市民アンケート回答者における自動車保有状況は、「自分で自由に使える自動車がある」が70.5%が最も高く、次いで「家族で共有している自動車はない」が8.0%、「家族で共同利用する自動車がある」が6.8%、「家族が運転し送迎してくれる自動車がある」が6.4%と続く。

17

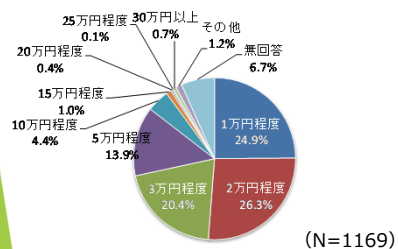
IV 市民アンケート集計

自動車の保有台数



市民アンケート回答者における自動車の保有台数は、「1台」が42.3%となっており、次いで「2台」が39.4%、「3台」が8.6%となっている。

自動車の維持費

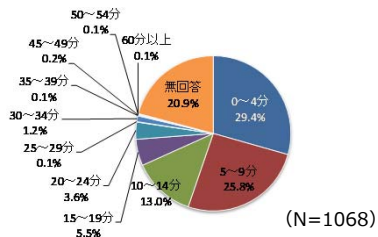


市民アンケート回答者における自動車の維持費は、1ヶ月あたり「2万円程度」が26.3%と最も高く、次いで「1万円程度」が24.9%、「3万円程度」が20.4%、及び「5万円程度」が13.9%と続く。

18

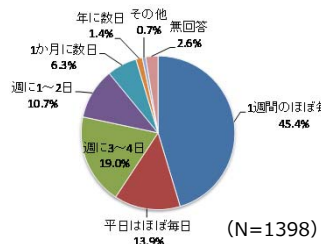
IV 市民アンケート集計

自宅からバス停までの時間



市民アンケート回答者における自宅からバス停までの時間は、「0~4分」が29.4%と最も高く、次いで「5分~9分」が25.8%、及び「10~14分」が13.0%となっている。

外出の頻度



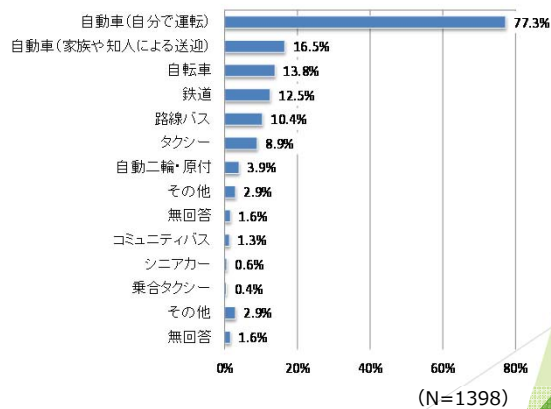
市民アンケート回答者における外出の頻度は、「1週間のほぼ毎日」が45.4%と最も高く、次いで「週に3~4日」が19.0%、「平日はほぼ毎日」が13.9%、及び「週に1~2日」が10.7%と続く。

19

IV 市民アンケート集計

普段利用する移動手段

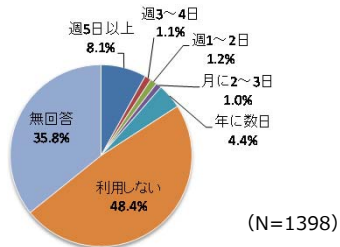
市民アンケート回答者における普段利用する移動手段は、「自動車（自分で運転）」が77.3%と最も高く、次いで「自動車（家族や知人による送迎）」が16.5%、「自転車」が13.8%、「鉄道」が12.5%、「路線バス」が10.4%及び「タクシー」が8.9%の順となっている。



20

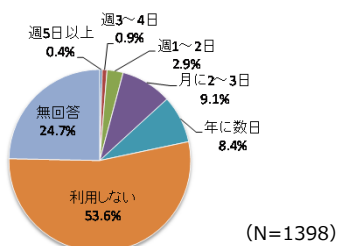
IV 市民アンケート集計

通勤・通学で公共交通を利用する頻度



市民アンケート回答者における通勤・通学で公共交通を利用する頻度は、「利用しない」が48.4%と最も高く、次いで「週5日以上」が8.1%となっている。

通院で公共交通を利用する頻度

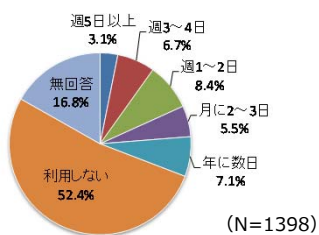


市民アンケート回答者における通院で公共交通を利用する頻度は、「利用しない」が53.6%と最も高く、次いで「月に2~3日」が9.1%となっている。

21

IV 市民アンケート集計

買い物で公共交通を利用する頻度



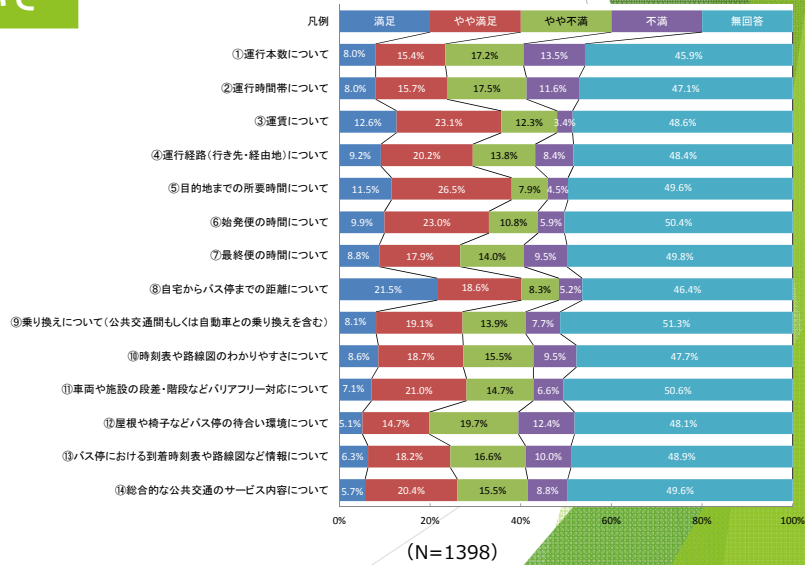
市民アンケート回答者における買い物で公共交通を利用する頻度は、「利用しない」が52.4%と最も高く、次いで「週1~2日」が8.4%となっている。

22

Ⅳ 市民アンケート集計

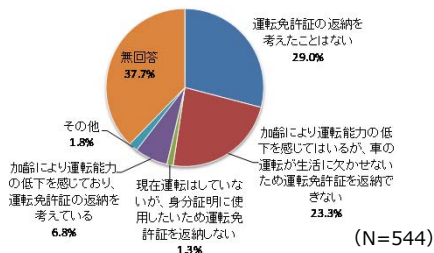
公共交通の満足度について

市民アンケート回答者における公共交通の満足度のうち、「不満」の比率が最も高いものは「①運行本数について」が13.5%と最も高く、次いで「⑫屋根や椅子などのバス停の待合環境について」が12.4%、「②運行時間帯について」が11.6%となっている。



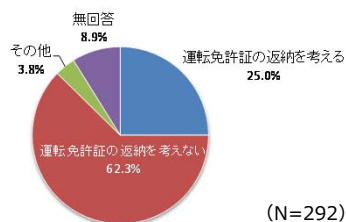
Ⅳ 市民アンケート集計

今後の運転免許証の返納について



70歳以上の市民アンケート回答者における今後の運転免許証の返納については、「考えたことがない」が29.0%と最も高く、次いで「加齢により運転能力の低下を感じてはいるが、車の運転が生活に欠かせないため運転免許証を返納できない」が23.3%となっている。

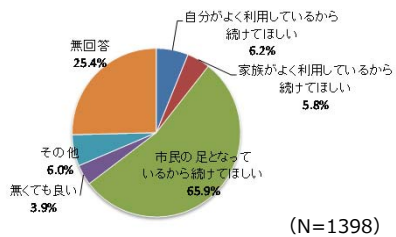
「自動車の維持費と同等の金額で公共交通サービス(相乗りタクシーなど)が利用できるとしたら、運転免許証の返納を考えるか」について



70歳以上の市民アンケート回答者における自動車の維持費と同等の金額で公共交通サービス(相乗りタクシーなど)が利用できるとしたら、運転免許証の返納を考えるかについては、「運転免許証の返納を考えない」が62.3%と最も高く、次いで「運転免許証の返納を考える」が25.0%となっている。

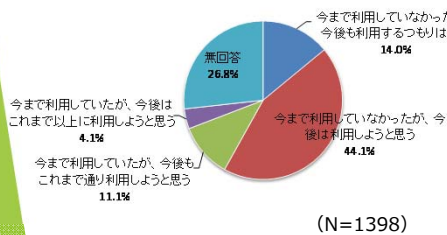
Ⅳ 市民アンケート集計

公共交通の今後の運行について



市民アンケート回答者における公共交通の今後の運行については、「市民の足となっているから続けてほしい」が65.9%と最も高く、次いで「自分がよく利用しているから続けてほしい」が6.2%となっている。

公共交通を維持・継続していくという視点から、これまで以上に公共交通を利用するかについて



市民アンケート回答者における、これまで以上に公共交通を利用するかについては、「今まで利用していなかったが今後は利用しようと思う」が44.1%と最も高く、次いで「今まで利用していたが、今後も利用するつもりはない」が14.0%となっている。

25

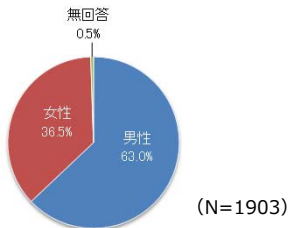
V 施設利用者アンケート①（高校）実施概要

項目	実施方法・内容等
調査対象	■ 高等学校：加治木高等学校、蒲生高等学校、加治木工業高等学校 (※スクールバスを運行していない学校)
調査方法	■ 学校に協力を依頼し調査票を配布・回収
調査時期／サンプル数	■ 平成28年10月24日～11月25日 ・ 加治木高等学校（913件） ・ 蒲生高等学校（224件） ・ 加治木工業高等学校（766件）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 属性（居住地、性別、学年、世帯数、居住地、免許証の保有状況、自動車の保有状況、自宅から最寄りのバス停） ・ 移動特性（交通手段、登下校の時間帯） ・ 公共交通利用の理由（利用しない理由） ・ 公共交通サービスの満足度 (安全性、安心感、定時性、所要時間、利用料金、運行時間帯、運行本数、運行ルート、乗り換え、時刻表・路線図情報、バリアフリー対応、バス停待合環境、バス停における情報提供、総合的なサービス内容) ・ 通学経路 ・ 習い事・塾等の頻度・行先・時間帯、買い物の頻度・行先・時間帯 ・ 公共交通に対する要望・意見 ・ 公共交通に対する利用意向 <p style="text-align: right;">など</p>

26

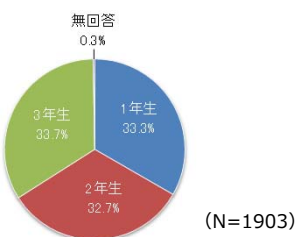
V 施設利用者アンケート①（高校）集計

性別



高校生アンケート回答者の性別比率は、「男性」が63.0%、「女性」が36.5%である。

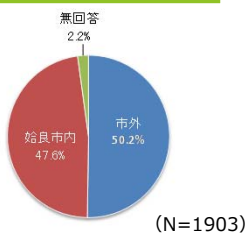
学年



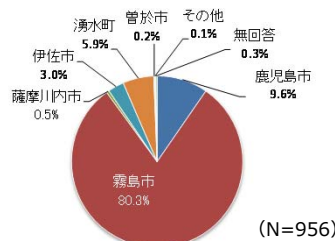
回答者の学年構成比は、「1年生」が33.3%、「2年生」が32.7%、及び「3年生」が33.7%となる。

V 施設利用者アンケート①（高校）集計

居住地



県内（始良市以外）

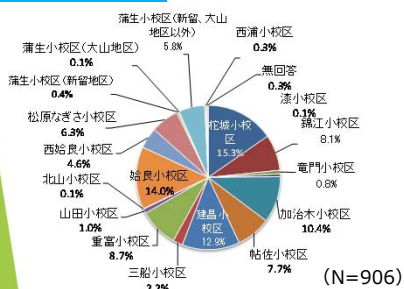


回答者の居住地は、「始良市内」が47.6%、「始良市外」が50.2%である。

始良市外から通学する学生は、「霧島市」が80.3%と最も多く、次いで「鹿児島市」が9.6%と続く。

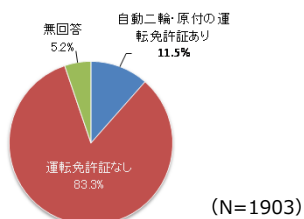
始良市内から通学する学生は、花城小校区（15.3%）、始良小校区（14.0%）及び建昌小校区（12.9%）の比率が高くなっている。

始良市内



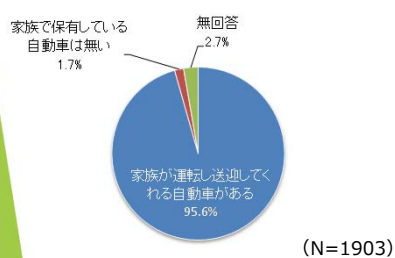
V 施設利用者アンケート①（高校）集計

運転免許証の保有状況



高校生アンケート回答者における運転免許証保有状況は、「免許証なし」が83.3%となっており、「自動二輪・原付の免許証あり」が11.5%である。

自動車の保有状況

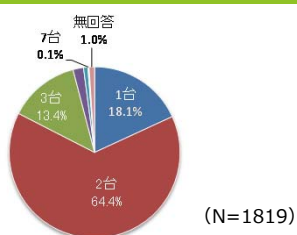


高校生アンケート回答者における自動車保有状況は、「家族が運転し送迎してくれる自動車がある」が95.6%が最も高く、次いで「家族で所有している自動車はない」が1.7%と続く。

29

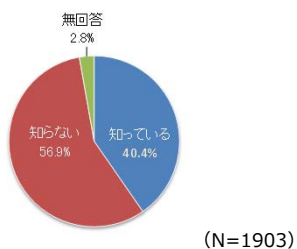
V 施設利用者アンケート①（高校）集計

自動車の保有台数



高校生アンケート回答者における自動車の保有台数は、「2台」が64.4%となっており、次いで「1台」が18.1%、「3台」が13.4%となっている。

自宅最寄バス停について

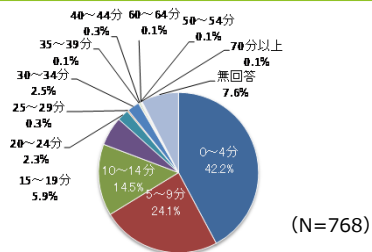


高校生アンケート回答者における自宅最寄バス停を知っているかの問に対して、「知らない」が56.9%、「知っている」が40.4%となっている。

30

V 施設利用者アンケート①（高校）集計

自宅からバス停までの時間



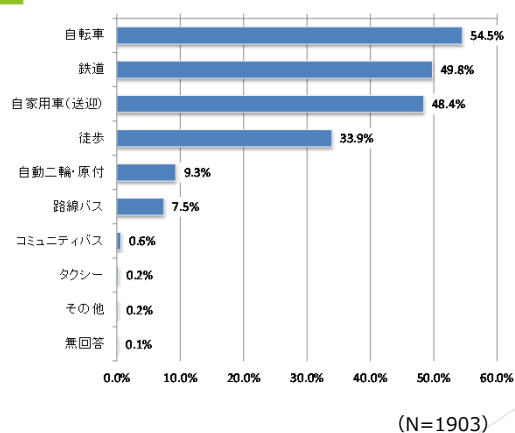
市民アンケート回答者における自宅からバス停までの時間は、「0~4分」が42.2%と最も高く、次いで「5分~9分」が24.1%、及び「10~14分」が14.5%となっている。

31

V 施設利用者アンケート①（高校）集計

普段利用する移動手段

高校生アンケート回答者における通学の際の移動手段は、「自転車」が54.5%と最も高く、次いで「鉄道」が49.8%、「自家用車（送迎）」が48.4%、「徒歩」が33.9%、「自動二輪・原付」が9.3%、「路線バス」が7.5%及び「コミュニティバス」が0.6%の順となっている。

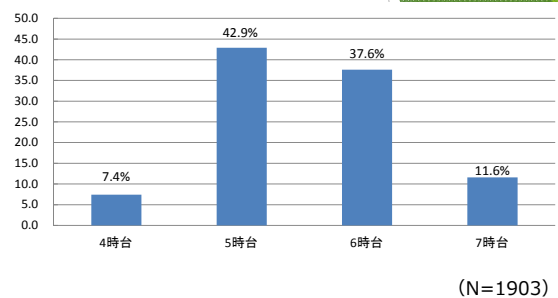


32

V 施設利用者アンケート①（高校）集計

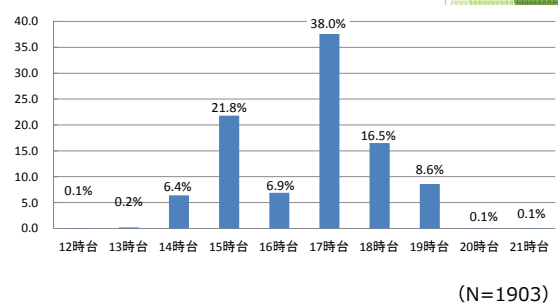
登校時刻

高校生アンケート回答者における登校時刻は、「5時台」が42.9%と最も高く、次いで「6時台」が37.6%となっている。



下校時刻

高校生アンケート回答者における下校時刻は、「17時台」が38.0%と最も高く、次いで「15時台」が21.8%となっている。

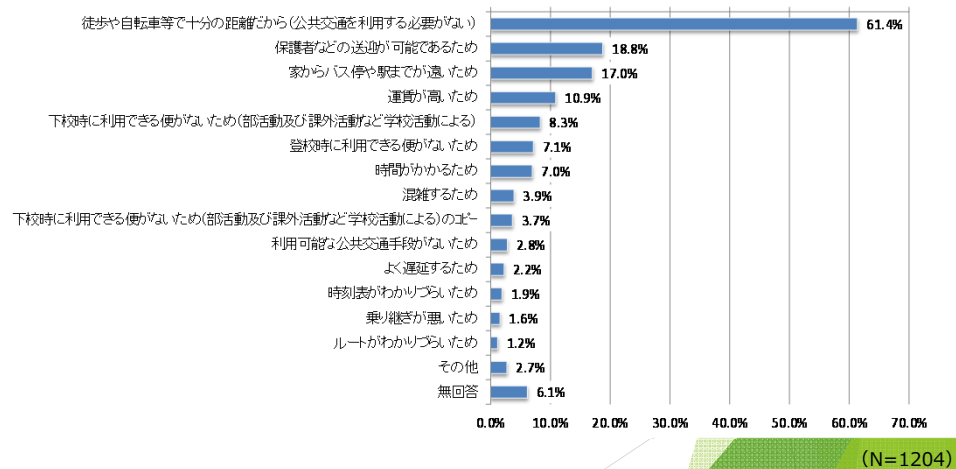


33

V 施設利用者アンケート①（高校）集計

登下校時に公共交通を利用しない理由

高校生アンケート回答者における登下校時に公共交通を利用しない理由は、「徒歩や自転車等で十分の距離だから（公共交通を利用する必要がない）」が61.4%と最も高く、次いで「保護者などの送迎が可能であるため」が18.8%、「家からバス停や駅までが遠いため」が17.0%の順となっている。

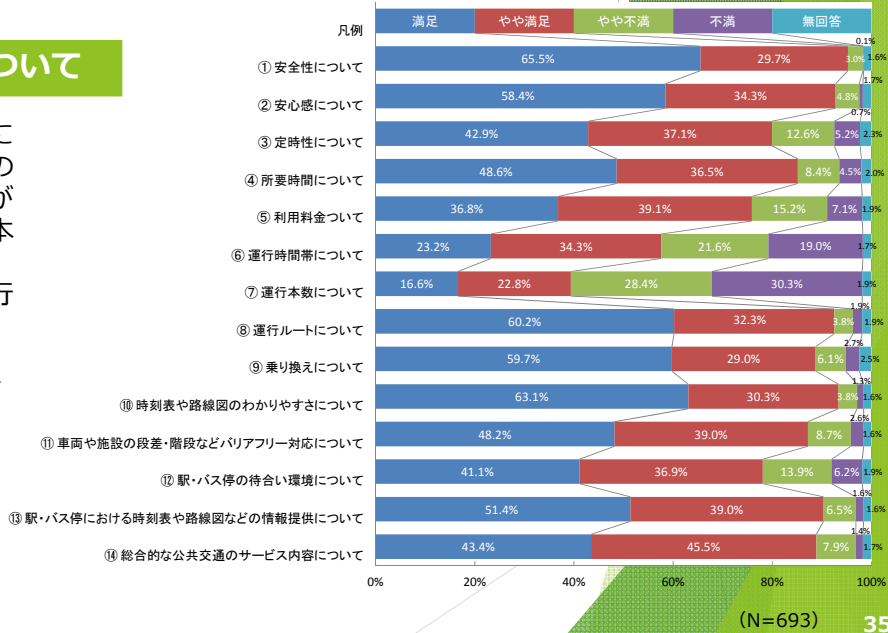


34

V 施設利用者アンケート①（高校）集計

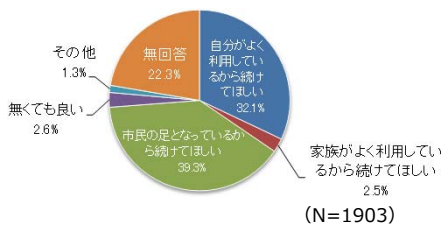
公共交通の満足度について

高校生アンケート回答者における公共交通の満足度のうち、「不満」の比率が最も高いものは「⑦運行本数について」が30.3%と最も高く、次いで「⑥運行時間帯について」が19.0%、「⑤利用料金について」が7.1%となっている。



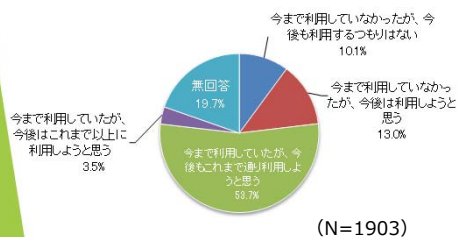
V 施設利用者アンケート①（高校）集計

公共交通の今後の運行について



高校生アンケート回答者における公共交通の今後の運行については、「市民の足となっているから続けてほしい」が39.3%と最も高く、次いで「自分がよく利用しているから続けてほしい」が32.1%となっている。

公共交通を維持・継続していくという視点から、これまで以上に公共交通を利用するかについて



高校生アンケート回答者における、これまで以上に公共交通を利用するかについては、「今まで利用していたが、今後はこれまで通り利用しようと思う」が53.7%と最も高く、次いで「今まで利用していたが、今後は利用しようと思う」が35%となっている。

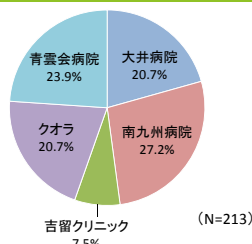
VI 施設利用者アンケート②（医療施設）実施概要

項目	実施方法・内容等
調査対象	■医療施設：南九州病院、大井病院、吉留クリニック、青雲会病院、クオラクリニックあいら
調査方法	■医療施設：調査員が利用者に聞き取り調査（待合ロビー等）
調査時期／ サンプル数	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年12月6日（火） 8:00～10:00 南九州病院／58件 ■平成28年12月6日（火） 10:30～12:00 大井病院／44件 ■平成28年12月7日（水） 8:30～ 9:30 吉留クリニック／16件 ■平成28年12月8日（木） 8:30～10:00 青雲会病院／51件 ■平成28年12月8日（木） 10:30～12:30 クオラクリニックあいら／44件
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ■属性（性別、年代、居住地） ■来訪理由（※診察、見舞い、付添等） ■移動特性（利用頻度、交通手段） ■公共交通利用の理由（利用しない理由） ■公共交通に対する要望・意見

37

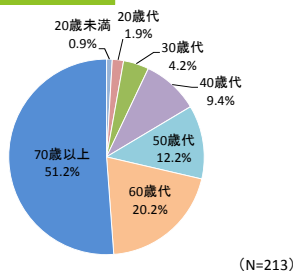
VI 施設利用者アンケート②（医療施設）集計

医療施設別サンプル数



サンプル数は医療施設の規模、来院数及び調査時間によるが、「南九州病院」が58件、「青雲会病院」が51件、「大井病院」が44件、「クオラクリニックあいら」が44件、及び「吉留クリニック」が16件だった。

年代

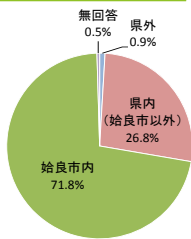


回答者の年代構成比は、「70歳以上」が51.2%と最も高く、次いで、「60歳代」が20.2%、「50歳代」が12.2%、及び「40歳代」が9.4%と続く。

38

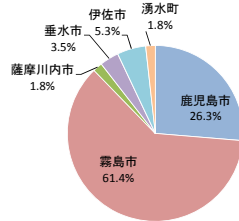
VI 施設利用者アンケート②（医療施設）集計

居住地



(N=213)

県内（始良市以外）



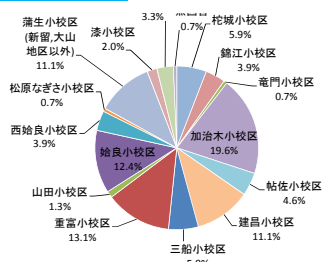
(N=57)

回答者の居住地は、「始良市内」が71.8%と最も多く、次いで、「鹿児島県内（始良市以外）」が26.8%、「県外」が0.9%である。

県内始良市以外からの来院は、「霧島市」が61.4%と最も多く、次いで「鹿児島市」が26.3%と続く。

始良市内からの来院は、施設の立地が関わってくるが、加治木小校区及び始良小校区の比率が高くなっている。

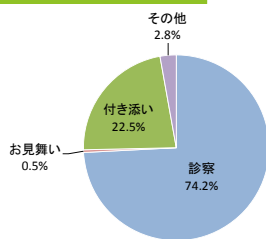
始良市内



(N=153)

VI 施設利用者アンケート②（医療施設）集計

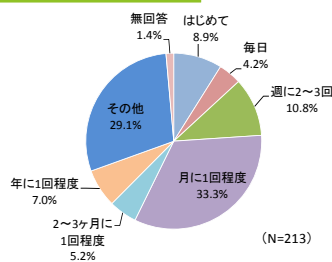
訪問理由



(N=213)

訪問理由は、「診察」が74.2%を占めるほか、「付き添い」が22.5%と続く。

頻度



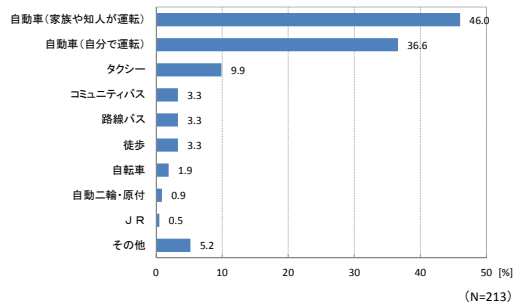
(N=213)

回答者の来院頻度は、「月に1回程度」が33.3%と最も高く、次いで「週に2~3回」が10.8%、「年に1回程度」及び「2~3ヶ月に1回程度」が続く。

VI 施設利用者アンケート②（医療施設）集計

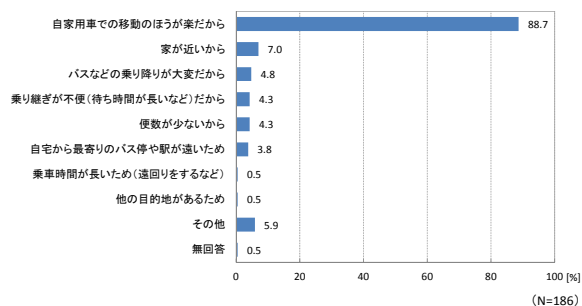
交通手段

来院者の交通手段は、「自動車（家族や知人が運転）」が46.0%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」が36.6%、「タクシー」が9.9%と続く。



公共交通を利用しなかった理由

「自家用車での移動のほうが楽だから」が88.7%と最も高く、その他は「家が近いから」が7.0%、「バスなどの乗り降りが大変だから」、「乗り継ぎが不便だから」、「便数が少ないから」、「自宅や最寄りのバス停や駅が遠いから」と言った回答が続く。



41

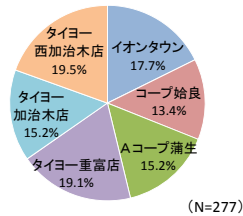
VII 施設利用者アンケート③（商業施設）実施概要

項目	実施方法・内容等
調査対象	■商業施設：タイヨー加治木店、タイヨー西加治木店、Aコープ蒲生店、タイヨー重富店、生協コープ始良店、イオンタウン始良
調査方法	■商業施設：調査員が利用者に聞き取り調査（施設入口等）
調査時期／サンプル数	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年12月6日（火） 13:00～15:00 タイヨー加治木店／42件 ■平成28年12月6日（火） 15:30～17:30 タイヨー西加治木店／54件 ■平成28年12月7日（水） 10:00～11:30 Aコープ蒲生店／42件 ■平成28年12月7日（水） 13:00～15:00 タイヨー重富店／53件 ■平成28年12月7日（水） 15:30～17:30 生協コープ始良店／37件 ■平成28年12月8日（木） 14:00～17:00 イオンタウン始良／49件
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ■属性（性別、年代、居住地） ■来訪理由 ■移動特性（利用頻度、交通手段） ■公共交通利用の理由（利用しない理由） ■公共交通に対する要望・意見

42

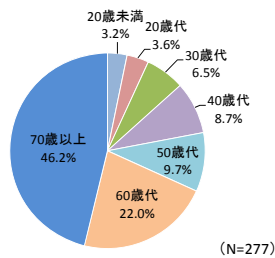
Ⅶ 施設利用者アンケート③（商業施設）集計

商業施設別サンプル数



サンプル数は商業施設の規模、来客数及び調査時間によるが、「タイヨー西加治木店」が54件、「タイヨー重富店」が53件、「イオンタウン始良」が49件、「Aコープ蒲生」及び「タイヨー加治木店」が42件、及び「生協コープ始良」が37件だった。

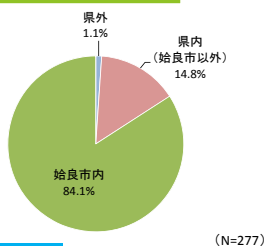
年代



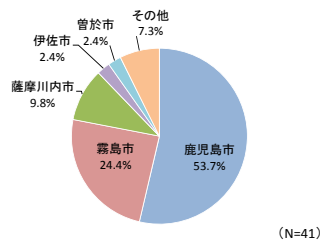
回答者の年代構成比は、「70歳以上」が46.2%と最も高く、次いで、「60歳代」が22.0%、「50歳代」が9.7%、及び「40歳代」が8.7%と続く。

Ⅶ 施設利用者アンケート③（商業施設）集計

居住地



県内（始良市以外）

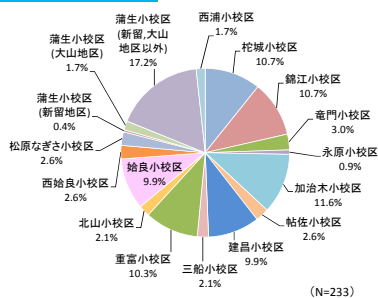


回答者の居住地は、「始良市内」が84.1%と最も多く、次いで、「鹿児島県内（始良市以外）」が14.8%、「県外」が1.1%である。

県内始良市以外からの来客は、「鹿児島市」が53.7%と最も多く、次いで「霧島市」が24.4%と続く。

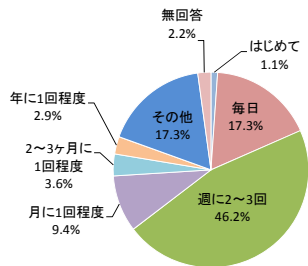
始良市内から来客は、施設の立地が関わってくるが、蒲生小校区（新留、大山地区以外）及び加治木小校区の比率が高くなっている。

始良市内



Ⅶ 施設利用者アンケート③（商業施設）集計

頻度



(N=277)

回答者の来院頻度は、「週に2~3回」が46.2%と最も高く、次いで「毎日」が17.3%、「月に1回程度」が9.4%、「2~3ヶ月に1回程度」が3.6%及び「年に1回程度」が2.9%と続く。

45

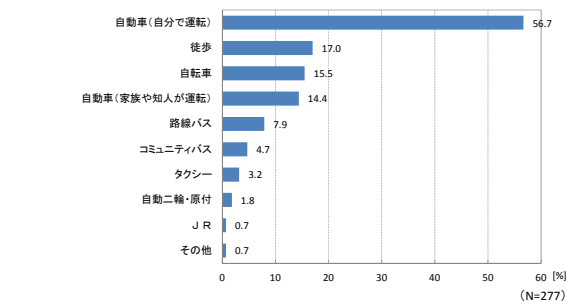
Ⅶ 施設利用者アンケート③（商業施設）集計

交通手段

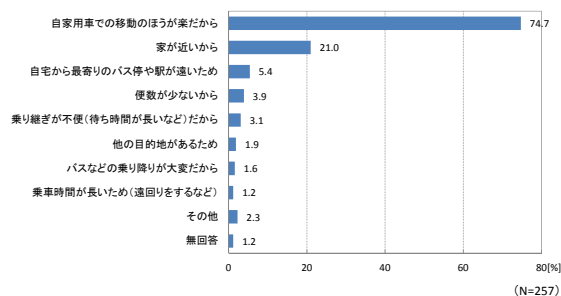
来院者の交通手段は、「自動車（自分で運転）」が56.7%と最も高く、次いで「徒歩」が17.0%、「自転車」が15.5%、「自動車（家族や知人が運転）」が14.4%、「路線バス」が7.9%と続く。

公共交通を利用しなかった理由

「自家用車での移動のほうが楽だから」が74.7%と最も高く、その他は「家が近いから」が21.0%、「自宅や最寄りのバス停や駅が遠いため」が5.4%、「便数が少ないから」、「乗り継ぎが不便（待ち時間が長いなど）だから」が3.1%、「他の目的地があるため」が1.9%、「バスなどの乗り降りが大変だから」が1.6%、「乗車時間が長い（遠回りをするなど）」が1.2%、「その他」が2.3%、「無回答」が1.2%と続いた。



(N=277)



(N=257)

46

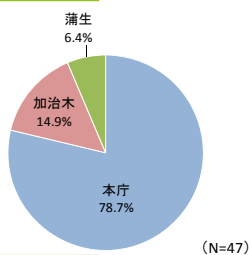
VIII 施設利用者アンケート④（3庁舎）実施概要

項目	実施方法・内容等
調査対象	■ 公共施設：始良市役所本庁舎、加治木総合支所、蒲生総合支所
調査方法	■ 受付案内に協力を依頼し調査票を配布・回収
調査時期／ サンプル数	■ 始良市役所3庁舎：平成28年10月18日～11月25日／47件
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 属性（性別、年代、居住地） ・ 移動特性（利用頻度、交通手段） ・ 公共交通利用の理由（利用しない理由） ・ 公共交通に対する要望・意見

47

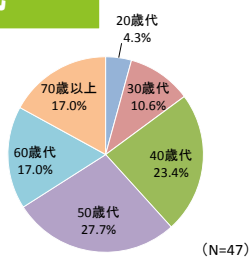
VIII 施設利用者アンケート④（3庁舎）集計

訪問場所



市役所本庁、加治木総合支所、蒲生総合支所でのサンプル数は47であり、本庁が37件、加治木総合支所が7件、及び蒲生総合支所が3件である。

年代

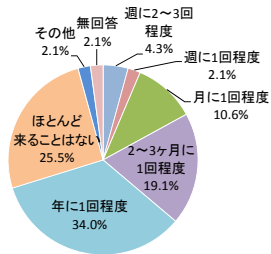


回答者の年代構成比は、「50歳代」が27.7%であり、次いで、「40歳代」が23.4%、「60歳代」、「70歳以上」が続く。

48

VIII 施設利用者アンケート④（3庁舎）集計

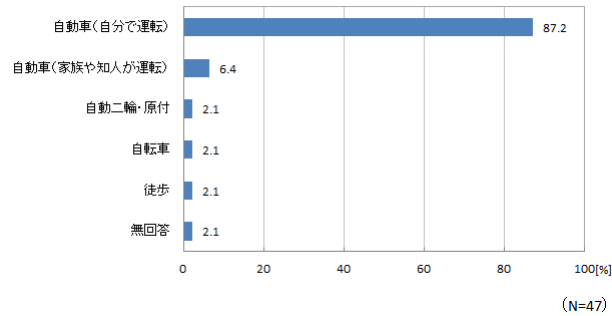
来庁頻度



市役所（支所）への来訪頻度は、「年に1回程度」が34.0%と最も高く、次いで「ほとんど来ることはない」が25.5%と高い。続いて、「2~3ヶ月に1回程度」が19.1%、「月に1回程度」が10.6%の順である。

来庁者交通手段

来庁者の交通手段は、「自動車（自分で運転）」が87.2%と最も多く、次いで、「自動車（家族や知人が運転）」が6.4%と続く。

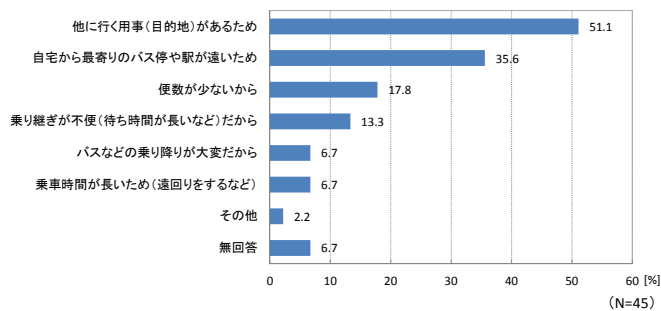


49

VIII 施設利用者アンケート④（3庁舎）集計

公共交通を利用しなかった理由

「他に行く用事（目的地）があるため」が51.1%と最も高く、次いで「自宅や最寄りのバス停や駅が遠いため」が35.6%、「便数が少ないから」、「乗継が不便だから」と言った回答が続く。



50

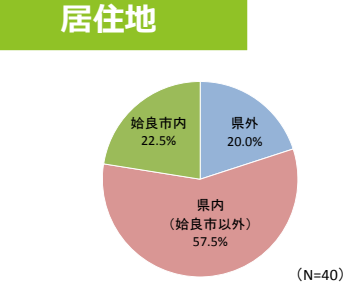
Ⅹ 施設利用者アンケート⑤ (観光交流センター) 実施概要

項目	実施方法・内容等
調査対象	■ 観光施設：蒲生観光交流センター
調査方法	■ 受付案内に協力を依頼し調査票を配布・回収
調査時期/ サンプル数	■ 蒲生観光交流センター：平成28年10月18日～11月25日／40件
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 属性（性別、年代、居住地） ・ 移動特性（利用頻度、交通手段） ・ 公共交通利用の理由（利用しない理由） ・ 公共交通に対する要望・意見

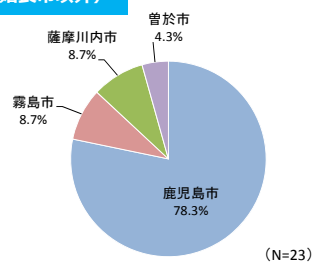
51

Ⅹ 施設利用者アンケート⑤ (観光交流センター) 集計

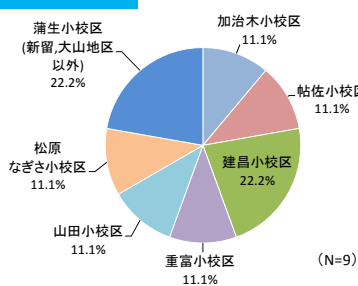
居住地



県内(始良市以外)



始良市内



回答者の居住地は、「鹿児島県内(始良市以外)」が57.5%と最も高く、次いで、「始良市内」が22.5%、「県外」が20.0%である。

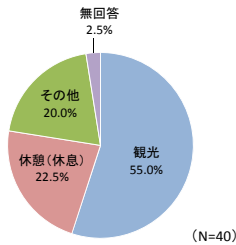
県内始良市以外からの来訪者は、「鹿児島市」が78.3%と最も高く、次いで、「霧島市」及び「薩摩川内市」が8.7%と続く。

始良市内からは、蒲生小校区(新留、大山区以外) (※施設立地場所) 及び建昌小校区が22.2%と多くなっている。

52

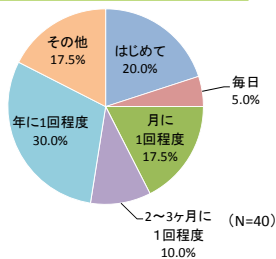
Ⅹ 施設利用者アンケート⑤（観光交流センター）集計

来訪理由



観光交流センターへの来訪理由は、「観光」が55.0%と最も多く、次いで「休憩（休息）」が22.5%となっている。

来訪頻度



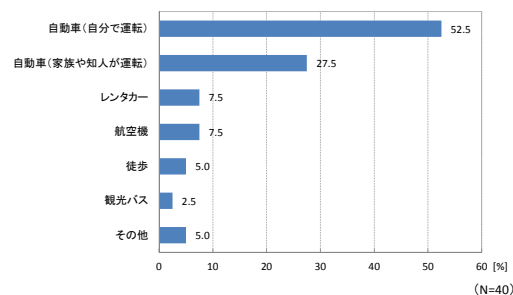
観光交流センターへの来訪頻度は、「年に1回程度」が30.0%と最も多く、次いで「はじめて」が20.0%、「月に1回程度」が17.5%と続く。

53

Ⅹ 施設利用者アンケート⑤（観光交流センター）集計

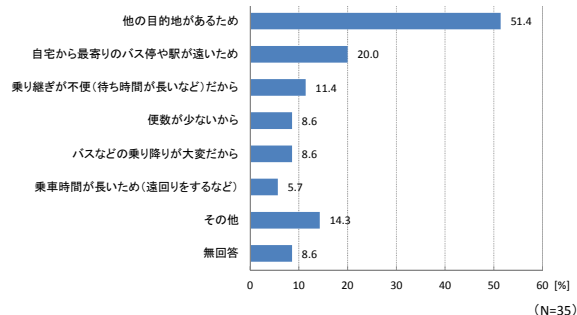
交通手段

観光交流センターへの交通手段は、「自動車（自分で運転）」が52.5%と最も高く、次いで、「自動車（家族や知人が運転）」が27.5%と続く。



公共交通を利用しなかった理由

「他に目的地があるため」が51.4%と最も高く、次いで「自宅や最寄りのバス停や駅が遠いため」が20.0%、「乗継が不便だから」、「便数が少ないから」、「バスなどの乗り降りが大変だから」と言った回答が続く。



54

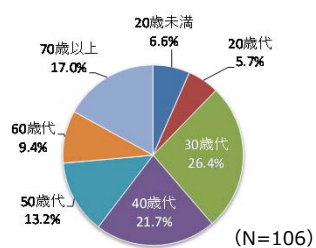
X 観光イベント時アンケート (大楠どんと秋まつり) 実施概要

項目	実施方法・内容等
調査対象	■大楠どんと秋まつり来訪者 (※雨天のため、蒲生小学校体育館及び校庭にて開催)
調査方法	■調査員が来訪者に聞き取り調査(体育館入口付近、休憩テント)
調査時期/ サンプル数	■平成28年11月27日(日) / 106件
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・属性(性別、年代、居住地) ・広報媒体 ・利用回数 ・参加理由 ・集合場所までの交通手段 ・公共交通利用の理由(利用しない理由) ・公共交通に対する要望・意見

55

X 観光イベント時アンケート (大楠どんと秋まつり) 集計

年代

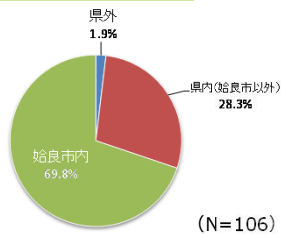


回答者の年代構成比は、「30歳代」が26.4%と最も高く、次いで、「40歳代」が21.7%、「70歳以上」が17.0%、及び「50歳代」が13.2%と続く。

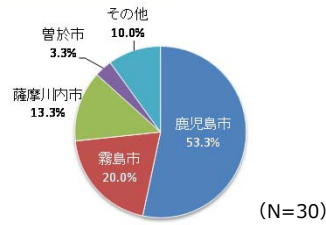
56

X 観光イベント時アンケート（大楠どんと秋まつり）集計

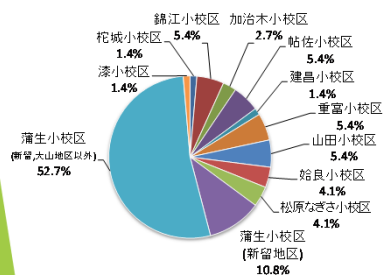
居住地



県内（始良市以外）



始良市内



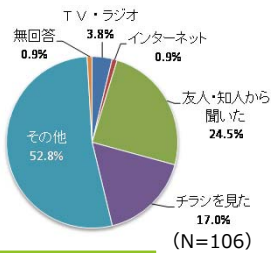
回答者の居住地は、「始良市内」が69.8%と最も多く、次いで、「鹿児島県内（始良市以外）」が28.3%、「県外」が1.9%である。

県内始良市以外からの来訪者は、「鹿児島市」が53.3%と最も多く、次いで「霧島市」が20.0%、「薩摩川内市」が13.3%と続く。

始良市内での来訪者は、蒲生小学校でのイベントであったこともあり、蒲生小校区（新留、大山地区以外）及び蒲生小校区（新留地区）の比率が高くなっている。

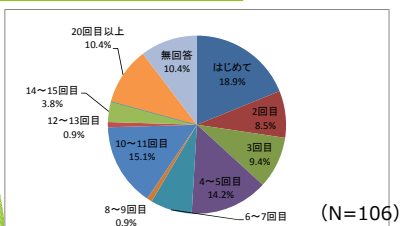
X 観光イベント時アンケート（大楠どんと秋まつり）集計

イベントを知るきっかけ



回答者がイベントに来るきっかけとなった理由は、「友人・知人から聞いた」が24.5%と最も高く、次いで「チラシを見た」が17.0%、「TV・ラジオ」が3.8%と続く。「その他」の回答の中には「子供が通う学校で知らされた」、「地元なので昔から知っている」などの回答があった。

来訪回数



回答者の来訪回数は、「はじめて」が18.9%と最も高く、次いで「10~11回」が15.1%、「4~5回」が14.2%と続く。

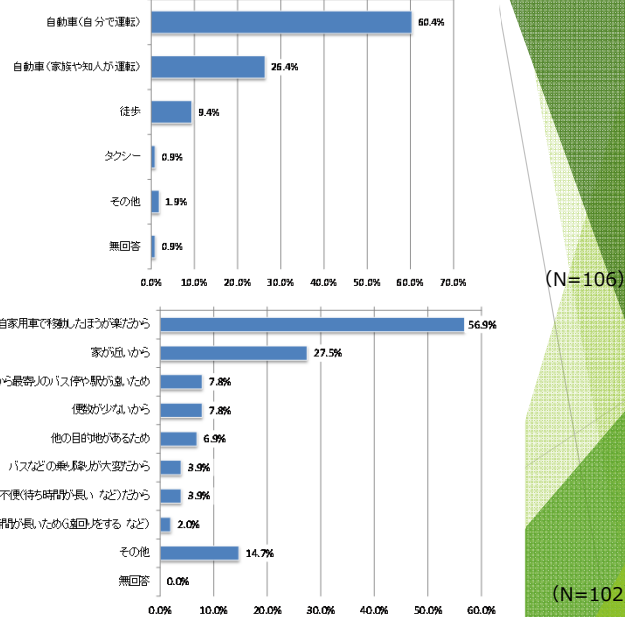
X 観光イベント時アンケート（大楠どんと秋まつり）集計

交通手段

来院者の交通手段は、「自動車（自分で運転）」が56.7%、と最も高く、次いで「徒歩」が17.0%、「自転車」が15.5%、「自動車（家族や知人が運転）」が14.4%、「路線バス」が7.9%と続く。

公共交通を利用しなかった理由

「自家用車で移動のほうが楽だから」が56.9%と最も高く、その他は「家が近いから」が27.5%、「自宅や最寄りのバス停や駅が遠いため」が7.8%、「便数が少ないから」、「他の目的地があるため」と言った回答が続く。



59

XI 公共交通不便地域での座談会の開催概要

項目	実施方法・内容等
調査対象	■ 座談会参加者（漆校区、北山校区、竜門校区）
調査方法	■ 座談会による意見聴取
調査時期	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成28年11月24日（木） 12:30～ 漆校区座談会（サロン） ■ 平成28年11月27日（日） 9:00～ 漆校区座談会（役員会） ■ 平成28年12月 1日（木） 18:00～ 北山校区座談会 ■ 平成28年12月 6日（火） 9:30～ 竜門校区座談会（サロン） ■ 平成28年12月 6日（火） 18:00～ 竜門校区座談会（役員会）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の外出場所、目的、頻度 ・ 出かける時間、または帰宅時間 ・ 出かける手段 ・ 普段から公共交通を利用するか ・ 公共交通を利用しない理由 ・ どのように改善されれば公共交通を利用するか ・ 公共交通に対する意見 ・ 高齢者の運転免許返納について ・ その他意見

60

XI 公共交通不便地域での座談会の意見等

項目	意見
外出場所・頻度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 買い物または病院へ出かける事が多く、週2回程度の頻度とのこと。 ■ 病院付近のバス停まで公共交通を使用するが、そこからタクシーを利用する。 ■ スーパーへの買い物にバスで行き、帰りはタクシーで帰ってくる。
外出時間	<ul style="list-style-type: none"> ■ 午前中に用を済ませることがほとんど。
交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自家用車利用が多数。一部知人による送迎など
公共交通を利用しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目的地行くのに時間がかかる。自動車であれば30分で行けるとところに40～50分かかる。漆地区を回遊する時間が長い。 ■ 足腰の弱い人にとってはバス停に出てくるまでが大変。
公共交通に対する改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目的別のルート設定があると良い。病院ルート、買い物ルートなど。 ■ ベンチがあり雨宿りできる場所に乗り換えポイントを設置してほしい。 ■ 交通だけで考えるのではなく、福祉の見守りにもつながるようにしてほしい。 ■ 大型バスを走らすのはもったいない地区がある。 ■ 戸口まで来てくれるような形態になれば利用する。 ■ ノンステップバス等も良いが、足腰が弱いと10人乗りぐらいのジャンボタクシーの方が利用しやすい。 ■ 温泉券、鍼灸券の代わりにタクシー（割引）券が使えれば良い。 ■ フリー乗車のバスでは音楽を流せばもっと利用しやすくなる。
免許返納について	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農業を営んでいると、軽トラックを運転しなければならないため、運転免許の返納をしづらい。 ■ 公共交通が充実すれば免許返納も増えてくるだろう。

61

XII 地域公共交通の課題・問題点及び対応策

項目	課題・問題点及び対応策
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公共交通不便地域での利便性の改善と利用者の確保 ⇒ 高齢、足腰の不自由な方に対する移動手段の確保（バリアフリーへの対応含む） ⇒ 利用者が少ない路線・時間帯での交通形態の改善 ⇒ 運転手不足の深刻化 ■ 通院、買い物等生活上必須施設へのバス停・便数の確保 ⇒ 行きはバスを利用するが、帰りはタクシー利用。 ⇒ 医療施設の最寄までバスで行くが、足腰が不自由なためバス停からタクシーを使わざるを得ない。 ⇒ 自家用車による送迎、付き添いが顕在化。 ■ 鉄道・バス間及びバス乗り換え時の不便さによる利用の敬遠 ⇒ 鉄道・バス間での接続時間への配慮 ⇒ 行先、ダイヤの情報提供手法 ■ 観光利用との併用による路線及び便数の確保 ⇒ 観光地までのアクセスがわかりにくい。 ⇒ 情報提供も不足しているため、利用促進につながっていない。
対応策	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域・地区特性に応じた交通形態の見直し ■ 各地区における拠点（交通主要拠点、乗り換え場所等）の形成 ■ バリアフリー化など安全性確保のため、利用特性に応じた交通形態の改善 ■ 乗り換え情報提供手法の改善

62